

## 新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



### 項目名

- 胃がんリスク層別化検査ABC分類 (依頼コード No.13414)  
(ヘリコバクター・ピロリ抗体：ラテックス凝集比濁法)  
(ペプシノゲンI,II : ラテックス凝集法)

受託開始日 2020年4月1日(水) 受付分より

本検査は、2019年12月に認定NPO法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構より発行された「胃がんリスク層別化検診(ABC検診)胃がんを予知・予防し、診断・治療するために」の掲載内容に基づくものです。

胃がんリスク層別化検査(ABC検診)で測定しているヘリコバクター・ピロリ抗体(H.ピロリ抗体/EIA法)につきましては、現感染や既感染を含む陰性高値が問題とされており、その問題点を無視できるとして認定NPO法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構で推奨されている試薬(ラテックス凝集比濁法)を使用する検査を新設いたしました。

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3  
総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1  
☎ 049(232)3131 FAX 049(232)3132

検査項目検索用  
アプリ B-Book



Google play



Available on the  
App Store



電子カルテはビー・エム・エル



## 受託要領

	新	ご参考：現行コード内容
依頼（報告） コード No.	13414（親）胃がんリスクABC/LA	12891：胃がんリスク層別ABC
	（子）22666 胃のABC分類	12893：同左
	—	12895：H.ピロリ抗体/EIA
	（子）22667 H.ピロリ判定	21991：同左
	（子）22668 H.ピロリ抗体濃度	21992：同左
	—	12896：ペプシノゲン/LA
	（子）22669 ペプシノゲン判定	21993：同左
	（子）22670 ペプシノゲンI	21994：同左
	（子）22671 ペプシノゲンII	21995：同左
	（子）22672 ペプシノゲンI/II比	21996：同左
E判定対応	13416 H.ピロリ除菌歴有	12897：同左
検査項目名	胃がんリスク層別化検査ABC分類	同左
統一コード	3B346-0000-023-062	3B346-0000-023-920
検体必要量	血清 0.5mL	血清 1.1mL
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2～3	3～4
検査方法	H.ピロリ抗体：ラテックス凝集比濁法 ペプシノゲン：ラテックス凝集法	H.ピロリ抗体：EIA法 ペプシノゲン：同左
陽性判定基準	H.ピロリ抗体：(+) 10.0U/mL以上 ペプシノゲン(PG)：(+) PGI値が70.0ng/mL 以下かつPGI/II比が3.0以下	H.ピロリ抗体：(+) 3.0U/mL以上 ペプシノゲン：同左
単位	H.ピロリ抗体濃度：U/mL ペプシノゲンI・II：ng/mL ペプシノゲンI/II比：なし	同左
報告範囲	H.ピロリ抗体：3.0未満～100.0以上 ペプシノゲン：PG I値 0.1以下～最終値 PG II値 0.1以下～最終値 PG I/II比 0.1～最終値	H.ピロリ抗体：3.0未満～100以上 ペプシノゲン：同左
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	未収載	同左
検査試薬名	H.ピロリ抗体：H.ピロリ-ラテックス「生研」 ペプシノゲンI：オートペプシノゲンI・BML-2G ペプシノゲンII：オートペプシノゲンII・BML-2G	H.ピロリ抗体：Eプレート「栄研」H.ピロリ抗体II ペプシノゲンI：同左 ペプシノゲンII：同左
試薬製造販売元	H.ピロリ抗体：デンカ生研株式会社 ペプシノゲン：株式会社ビー・エム・エル	H.ピロリ抗体：栄研化学株式会社 ペプシノゲン：同左

### 依頼上の注意点について

- 除菌歴のある方は、「依頼コードNo.13414：胃がんリスク層別化検査ABC分類」と「依頼コードNo.13416：H.ピロリ除菌歴有」の2つの依頼コードを同時にご依頼ください。測定結果とともに判定Eを報告いたします。
- 「依頼コードNo.13416：H.ピロリ除菌歴有」のみでの依頼はできません。

#### 【検査方法の参考文献】

三木一正：胃がんリスク層別化検診(ABC検診)胃がんを予知・予防し、診断・治療するために 1～4, 2019.